

INFORMATION

T&D情報システム株式会社

2020年12月25日

日本アクチュアリー会のIT研究大会で、当社従業員が共同執筆した論文が優秀論文として表彰されました。

日本アクチュアリー会(*)の第59回IT研究大会で、当社従業員が共同執筆した論文が優秀論文として表彰されました。

■研究テーマ

「保険業界におけるSoE・SoRの在り方」

- ・天野敬一職員（事業一部）
- ・砂川大輔職員（テクニカルサポート二部）

■発表内容

近年、AIやIoT、ビッグデータといった先進技術が生命保険業界でも活用されはじめている一方で、基幹系業務システムに代表される「守りのIT:SoR」は近い将来レガシー化することが危惧されています。また、多くの企業がDX(デジタルトランスフォーメーション)の必要性を感じ、従来の生命保険事業の枠にとらわれないビジネス機会を創出するシステムとして「攻めのIT:SoE」へ期待を寄せています。生命保険事業特有の事情や今後の環境変化、SoRとSoE双方の特性を踏まえ、これらを最適に使い分けるための解決策について、システム構造と組織・人材の2つの視点から考察し、今後の生命保険業界におけるSoRとSoEの共存の在り方を提言しました。

■受賞者のコメント

- ・今まではあまり関心を持たなかった先進技術について、IT研究会を通じ関心を持つようになり、今の業務に活かせる技術がないか考えるようになりました。活動中は所属先業務を進めながら、研究内容を調べたり、他会社の人達と連携し進めることは大変でしたが、自身のスキルアップや新たな考え方を身につけられたこと、他会社の人達と意見交換できたことなど、とても貴重な経験を積むことができました。(天野敬一職員)
- ・業務との兼ね合いもあり、限られた時間の中で情報収集や研究会メンバーと議論を進めるのは大変でしたが、最新技術、他社生保の動向など、研究会の活動を通じて学んだことは多く、貴重な経験になりました。また、研究テーマに限らず最新のIT動向を情報収集することの大切さを実感できました。(砂川大輔職員)

(*)日本アクチュアリー会は、1899年に創立されたアクチュアリー学の研究調査やアクチュアリー教育・育成など幅広い活動を行う公益社団法人。法人会員は、大手金融機関を中心とした108社。IT研究会は、業界共通テーマについて各社のシステム部門の若手で調査・研究グループを組織し、調査・研究活動を行っている。その成果は年一回のIT研究大会で発表し、研究論文としてまとめている。研究会の活動は調査・研究が主目的だが、各社のシステム担当者間の交流を深め、また相互研鑽の場ともなっている。

以上

本件に関するお問合せ先

T&D情報システム株式会社

経営企画部 経営総務課 048-825-6101